

平成 30 年度第 1 回図書館利用者懇談会記録

名称	平成 30 年度第 1 回 図書館利用者懇談会
日時	平成 30 年 7 月 12 日 (木) 午後 6 時 30 分から午後 8 時 30 分まで
会場	中小企業センター 第 1 集会室
出席者	19 人 内訳 利用者 10 人 区側 (図書館・事務局) 9 人 八雲中央図書館長、庶務係長、事業計画係長兼大橋図書館長、運営担当係長兼緑が丘図書館長、資料係長兼目黒区民センター図書館長兼守屋図書館長、サービス係長兼目黒本町図書館長兼洗足図書館長、貸出・予約係長兼中目黒駅前図書館長、事務局 (庶務係 2 名)
懇談会次第	1 開会 2 八雲中央図書館長挨拶 3 目黒区立図書館の概要 4 指定寄付金 (ふるさと納税) 5 利用者懇談会 テーマ：区立図書館の図書や雑誌などの資料について 6 その他 <質疑・意見等> 7 閉会
配付資料	1 目黒区立図書館の概要 (平成 30 年 4 月現在) 2 指定寄付金 (ふるさと納税) 3 平成 29 年度第 3 回図書館利用者懇談会記録 4 平成 29 年度第 3 回図書館利用者懇談会アンケート結果 5 アンケート用紙
主要な発言	
1 開会	
2 八雲中央図書館長挨拶	夜分お忙しい中をご参加いただき感謝申し上げます。普段、図書館を利用されている方の声を聴かせていただくために、図書館利用者懇談会はテーマを決めて毎年度 3 回程度行っています。本日は、区立図書館の図書や雑誌などの資料について、活発な意見交換ができればと思っています。 (出席職員自己紹介)
3 目黒区立図書館の概要	※資料 1 目黒区立図書館の概要 (平成 30 年 4 月現在) 参照 図書館の基本は、区民に開かれた施設、区民の自由な学習の場・憩いの場として、地域における生涯学習を推進し、多様化・高度化する学習に必要な資料・情報を的確に提供していくことにあります。(資料 1 により説明)

図書館情報システムのオンラインにより全域サービス網を構築しています。コンピュータ・ネットワークにより全館の資料を有機的・効率的に統合し、区内すべての地域に図書館サービスを効果的に提供しています。

資料1の運営状況では、八雲中央図書館を中央館とし、7館を分館として運営している。各館とも業務運営を委託し、区職員は中央館に集約しています。

2の事業概要では、平日の開館時間について、中目黒駅前図書館は一日の乗降客が多い駅前という立地から午前10時から午後9時45分までとしています。

裏面3の事業実績の概要では、来館者数は八雲中央図書館が一番多く、続いて大橋図書館、中目黒駅前図書館の順となっており、立地条件や地域性によるものと考えられます。

4の利用者の推移の貸出者数は、約120万から130万人の間を推移しており、貸出点数は約413万点となっています。以上が図書館概要です。

4 指定寄付金（ふるさと納税）※資料2 指定寄付金（ふるさと納税）

目黒区では平成29年12月4日から、ふるさと納税ポータルサイト（ふるさとチョイス）を開設し、特定事業に活用するために寄付金を募る事業を開始しました。

図書館では、「子どもたちの豊かな心を育てる読書活動の推進のため、また、区民の生涯学習の拠点として、図書館資料の充実に活用します」の趣旨に基づき寄付金を募り、平成29年度は児童書を購入することにしました。

購入時点で使用できた指定寄付金に資料費分を加え、児童書の中でも貸出回数の多い絵本50タイトル15セットをそろえるよう努めました。そのうち8セットを館内閲覧用とし、いつでも誰でも手に取れるようにしました。残る7セットは館名シールを付けて貸出用とし、シール貼付の館に50冊（タイトル）が必ず戻るように配慮しました。

いただいた寄付金は約70万円に上り、寄付されたかたにはお礼申し上げます。なお、寄付されたかたのうち、承諾を得たかたの氏名を図書館ホームページで公表しています。

5 利用者懇談会

テーマ：区立図書館の図書や雑誌などの資料について

図書館の資料は、「目黒区立図書館資料収集方針」に基づき全分野にわたって幅広く収集しており、「目黒区立図書館資料別選定基準」を基に、東京都書店組合目黒支部から毎日配送される図書の中から複数の職員が実際に手に取り、毎日選定しています。

図書購入予算額は、平成29年度・30年度ともに約9千2百万円で、29年度の購入数は、図書約6万3千点、雑誌660誌、新聞46紙です。所蔵図書数は、28年度約117万点、29年度118万点で、約1万点が増加しました。他区と比較すると、29年度の区民一人当たりの資料費は23区中11番目となっています。

最近では、子どもたちの利用を鑑み、分館でも手に取れるように長く読み継がれ

ている絵本や読み物などを複数購入するように心がけています。また、子どもたちの興味や関心に寄り添えるような分類の本も複数用意し、団体貸出や調べる学習にご利用いただいています。

図書館に所蔵のない資料は、区民へのサービスとして他自治体との相互貸借により提供できる場合もあります。また、区内外の大学図書館に紹介状を発行し、資料の閲覧をしていただく場合もあります。

雑誌は、様々な分野のものや専門的なものを収集しています。最新号（館内閲覧中）は、予約申し込み順ではなく抽選により貸出の順番を決めています。閲覧期間中に区民のかたから予約を受け付け、貸出が可能になった時点で順番が確定されません。

図書の除籍・廃棄は、「目黒区立図書館資料保存・廃棄基準」に基づき随時行っており、平成28年度約5万5千点、29年度6万1千点で、除籍したものはリサイクル本として各図書館で無償配付しています。汚れがひどい図書は、古紙回収により廃棄処分としています。

<懇談>

利用者 リストの中から実際に手に取って購入するのは、全購入数の約何パーセントですか。また、選定は届いた見本の中からは行うのですか。

図書館 毎日発送される資料数は日にもよりますが、おおよそリストの半分くらいであり、その中から選定しています。

利用者 選定の際に、資料の全部を読むのですか。

図書館 冊数が多いため資料を見る程度で読むことはないです。

図書館 読むのが理想ですが、その本の受入れの可否を即決できないときは、著者や出版社の傾向、また、聞き慣れない用語については、専門用語か、新用語か等を1～2週間程度調べたうえで購入の判断をします。最終的に購入を見送る場合もあります。慎重に複数の目でいろいろな情報を得ながら選定を行っています。

利用者 予約があるもので、まだ所蔵されていない本の場合はどうしているのですか。

図書館 区民の方は、所蔵がない本についても予約ができます。実際には、本が流通する前に予約が入ることもあります。

利用者 中目黒駅前図書館が移転する前のことですが、目黒区が所蔵していないある絵本をカウンターで予約しましたが、その後何の連絡もないことがありました。

図書館 目黒区にない本をいかに提供するか、課題として受け止めたいと思います。

利用者 アンケート用紙にも記入したが、音楽が好きなので音楽の専門書がほしいです。そのためには、上野にある音楽関連の資料室まで行かなければなりません。遠方なのでヤマハやカワイの企業の資料室を利用できると良いです。専門書に関しては、それぞれの専門とする企業、大学が所蔵する資料を区立図書館

を通じて利用できるようにしてほしいです。

なお、子どもの図書に関しても何でも選ぶのではなく、教育方針に基づいたものを選んでください。区立図書館がどのような目標を持って運営しているのかわかりませんが、娯楽目標のように思われてなりません。

図書館 23 区・東京都内の公立図書館内では相互ネットワークができていますが、専門図書館へのネットワークはないため、専門図書館から直接借りることはできません。情報を提供することはできるので資料相談カウンターを利用してください。

利用者 配布資料 1 目黒区立図書館の概要裏面※の最後にある蔵書率という言葉は、どういう意味ですか。また、資料中に蔵書率という表記はないが、どうなっているのですか。

図書館 4 の利用者の推移中、表中右から 4 番目の「蔵書」の箇所「率」の文字が抜けており、申し訳ありません。蔵書数を人口で割った数値を区民一人あたりの蔵書数としています。

利用者 果たしてそれを蔵書率というのですか。蔵書率ということばは、「図書館用語辞典」には載っていません。

図書館 目黒区教育委員会では事業報告書「目黒区の教育」を毎年発行しており、そこで蔵書率の説明はしています。

利用者 本日の進行は、ふるさと納税の説明後に質疑応答に移るかと思っていました。

図書館 今後は、進行の中で区切りをつけて進めます。

利用者 「目黒区の教育」の発行以前の「目黒区の図書館」には、実に詳細に説明されていました。データの分析がないまま、形だけの統計数値を登載するのでは資料としての意味がないのでは。人口の増加に対し、登録者数・登録率が減っているなどの実態を目黒区はどのように受け止めているのですか。きちんと説明すべきです。

地域資料のうち、行政資料について伺います。他から借用することができない重要な行政資料を収集して保存するという図書館の役割をきちんと果たしているのでしょうか。

昨年暮れにパブリックコメントの一つである住宅マスタープランの文書が見当たらないため住宅課へ照会したところ、電子データで出しているが、紙ベースでも必要なかと言われたことがありました。

図書館 紙ベースの資料が減っている背景には、電子化が進んでいるという世の中の流れもあります。

目黒区立図書館は、「目黒区立図書館基本方針」に基づき、よりよい図書館運営を目指しています。その実現に向けて、今後ともご協力をお願いします。

図書館 八雲中央図書館では、パブリックコメントなどの閲覧資料や配布物があれば図書館に送付するよう、毎年 4 月に全所属あて通知しています。また、めぐろ区報に掲載されるものは事前にチェックし、資料や配布物を取り寄せていま

す。

閲覧資料は、書架で3か月間は自由に閲覧いただき、3か月経過後は書庫で全て紙ベースで保存しています。

利用者 募集中のパブリックコメントなどは、インターネットの電子データで見たような気がします。所属により対応が異なるため、図書館では常に紙ベースでも入手できるようにしてください。それが地域資料中心の図書館の役目ではないでしょうか。

図書館 区が発信する情報を資料系の職員がチェックし、図書館に資料が未着のときは、所管に催促しています。住宅マスタープランも既に図書館に届いています。

図書館 3月には紙ベースで発行されていました。全ての所属できちんと対応するべきだと思います。

利用者 世田谷区や渋谷区は目黒区の図書館に比べ、辞書・雑誌・新聞など種類も豊富です。また都立中央図書館は、貸出しはできないが、バックナンバーが揃っていて充実しています。ただコピー代が1枚20円で高い。目黒区は辞書の種類を揃えてほしいです。なお、区政情報コーナーは中目黒駅前図書館よりも新聞の種類が豊富です。

図書館 辞書・雑誌と図書とのバランスは今後の課題と捉えています。必要な分野においては、借りた資料が特定の館に戻るようになっている資料もあります。八雲中央図書館の公開書庫にある年鑑や白書がその一例です。

6 その他

利用者 中目黒駅前図書館を総合庁舎の中に併設してもらいたいです。以前の利用者懇談会でも要望したが、制約があって難しいと言われました。

図書館 中目黒駅前図書館は、区内8館中3番目に利用者が多く人気があります。地域の方以外にも駅利用者等様々な形態で利用をされており、区内で唯一、夜9時45分まで開館している図書館でもあります。今の場所にあること自体が貴重だと思います。

利用者 配布された概要中、その他のサービスの欄には何か一つ抜けています。図書館のサービスの一つとして学校へのサービスが、かつてはあった気がします。特に目黒区立図書館基本方針の中では、今まで以上に学校に対する様々な支援がサービスとして強調されていました。そのサービスが、なぜこの概要には載っていないのですか。

図書館 学校への支援としては、中学校には職場体験の受入れなどを実施しています。また、小学生には、団体貸出・図書館訪問・学校訪問などを実施しています。紙面の都合上これらのサービスを掲載していません。サービス内容・実績などの詳細を「目黒区の教育」に掲載していますので、そちらをご覧くださいければと思います。

ほかに区立保育園・幼稚園・学童保育クラブ向けサービスも行っています。

利用者 何度も言いますが、なぜ概要にそれが載っていないのかを聞いています。

図書館 懇談会用の資料は、個人向け貸出を主に作成し、かつ「目黒区の教育」から個人貸出部分を抜粋したもののなので、趣旨をご理解いただければと思います。

利用者 目黒区立図書館基本方針の検討のときに学校への支援のしかたについて、独立している学校図書館に対して区立図書館の支援が必要なのか、と論議になった経緯があります。

「目黒区の教育」に書かれた概要は、一つ一つ大きな意味を持っているにもかかわらず、個人貸出以外は興味がない参加者が多いと判断し、学校へのサービスを掲載しなかったのですか。図書館としてそこを間違えないでください。

図書館 図書館として学校支援を疎かにしているわけではないことを、ご理解ください。

利用者 第2回懇談会の際に、もう一度概要を配布してください。

利用者 概要には「目黒区の教育」に登載しているものをしっかりと選んで掲載し、統計結果を大事にしてください。以前発行されていた「目黒区の図書館」は、内容が充実していて利用者には分かり易かったです。

利用者 ふるさと納税の指定寄付金で購入した資料 50 点の選定理由を知りたいです。選定は大きなポイントであるため、直に子ども達と触れ合い現場で関わっている私達に、選定の際聞いてくれなかったことを残念に思います。お母さん達が望んでいる本の選び方について、図書館からは何のアドバイスもありません。子どもの本は、私達区民も加わって選定しないとイケないと思います。

例えば、ねずみの本は 1・2・3 で 1 セットなのにどうしてもバラバラにされてしまいます。3 冊が揃ってこそ利用しやすいので 1 つにするなどきめ細かい対応を求めます。

また、1 人 20 点までの貸出点数は、多ければ良いではありません。20 点も借りられると書架に本がなくなるため、少ない点数を足しげく通って借り、キャッチボールしながら図書館を運営していくのが望ましいと思います。

図書館 購入した 50 タイトルは、一年間の貸出回数の多い順に選びました。

利用者 貸出回数の多い本が、必ずしも評価が高いとは限らないと思います。そういう機械的な選び方をしたのは残念です。

利用者 区立図書館は、教育的な資料だけではなく本に親しみが持てる資料も必要ではないかと思います。

図書館 一年間の貸出回数を集計した結果に加え、皆さんに多く読まれている本であるという利用者の意見を取り上げ、購入に至りました。よく読まれている本を追加購入し、更に読んでいただくことが趣旨です。

利用者 購入総額は、いくらですか。

図書館 指定寄付金の 65 万円に資料費を加え、約 70 万円です。

利用者 購入する前に私達の選定希望を聞いてほしかったです。選定のバランスが悪くてお金が勿体なく思います。私達は何年も懇談会に出席しているが、一方通行のまま、ただ報告を聞くだけに終わっているように思います。

図書館 ふるさと納税の趣旨の、「子どもたちの豊かな心を育てる読書活動の推進の

ため」に基づき寄付金を募った結果を踏まえ、平成 29 年度は児童書の購入とし、児童書の中でも絵本が妥当とのことで購入を決めました。

利用者 本当は結果を聞く立場ではなく、事業の着手前に絵本を買いたいが何がいいかと打診してほしかったです。

図書館 6月の区議会で、ある議員から図書館利用について、目黒区立図書館では貸出者の制限を設けてないが、23区の他区では貸出対象者を在住・在勤に絞っているところもある。目黒区も対象を絞ったほうが良いのではないかと提案に対し、利用者の声を聞きながら考えていくと回答しました。

利用者 なぜ、そのような質問が出たのですか。

図書館 図書館ホームページの貸出・予約リストを見て、3年くらい待たないと借りられない本があり、区民サービスからの視点から出た質問でしたが、この件について皆さんのご意見を伺いたいと思います。

利用者 図書館からは決めたことの報告を受けるだけで、私達の意見が無視され、図書館への不満が溜まっています。資料が揃っているうえでの話し合いならともかく、簡単にこの利用者懇談会で聞かないでほしいです。

ここで、きちんと「目黒区立図書館基本方針」に掲げている内容を考える必要があると思いますが、今後について意見を出し合い、話し合う場を創ることが先決です。私達も意見を述べておしまいではなく、皆で考えていく必要があります、図書館ばかりに任せられません。

以前に見学した北区では、区民と歩む図書館のスローガンのもと設置した委員会で様々なことを決めていました。児童書の選定についてもそこで一緒に話し合っていました。ただ、ある団体だけに任せるというのでは偏りがあります。

検討すべき課題が山積している中、例えば一部の団体ではなく様々な団体から要望を聞くなど一緒にやっていく必要があります。そうしないといつまで経っても同じ事の繰り返しです。北区の例を参考にしたいです。

図書館 区議会での質問を示したのは、懇談会は自由に意見を伺える場と捉えたからです。次回の懇談会で議論ができるようにきちんと資料を提供していきます。あくまでも利用者の声を聞く場として利用者懇談会を開催していますが、そういう場の有無にかかわらず、区立図書館は様々な意見を聞くという常にオープンな場でありたいと思っています。

利用者 一つ提案します。今日、ここで次回のテーマを決定してはいかがでしょうか。

図書館 テーマについては、準備や調整も必要なため図書館で決めさせていただきます。今のご意見は、提案として承ります。

利用者 決定に至らなくても、ここで次回の希望や方向性は言ってもよいのでしょうか。情報共有することに意義があると思います。

図書館 お話しのとおりかと思いますが、この懇談会は固定メンバーではなく、継続的に参加される方、新たに参加される方と様々です。

利用者 後でテーマを決めるにしても、決まったら早急に知らせてください。今回のように、ただ資料について、との周知ではなく、意見を聞かせていただきたい

とすべきで、私達もテーマについて、事前に纏めたり勉強しないといけません。

図書館 自由参加というのでフラッと参加されるかたもいるため、テーマを決めて事前に勉強が必要となるとハードルが高くなるかと思います。その点はもう少し緩く考えていただきたいと思います。

利用者 ここから次の話し合いのことを考える必要があります。毎回、新しい参加者が来ることを待ってから考えるのでは、懇談会を何回続けても同じ事の繰り返しどころか戻ることになります。

利用者 八雲中央図書館を創るときの利用者懇談会のように、分からない人は必ず事前に勉強しておくか、討論の場を利用者懇談会とは別に設ければいいと思います。

図書館 時間になったので、懇談会はこれで終了します。今日出されたご意見は、きちんと受け止めていきたいと思います。

次回の懇談会は、秋頃の開催を予定しています。

本日、お話しし切れなかったこと等をアンケートに記入のうえ、後日でも構わないので、図書館に提出をお願いします。

7 閉会（八雲中央図書館長挨拶）

二時間に渡り活発に懇談頂き、感謝申し上げます。皆様からいただいたご意見は、今後の図書館運営の参考にさせていただきますので、また次回もご参加くださいますようお願いいたします。